

令和2年度賀茂老人ホーム事業実施報告

社会福祉法人南伊豆厚生会

1 総括

当社会福祉法人南伊豆厚生会は令和2年度末をもって、昭和53年の社会福祉法人設立登記から43年目を迎えました。賀茂老人ホームは老人の自立支援を目的とした施設ですが、精神疾患や介護を必要とする入所者が年々増加していることに伴い、各入所者の状態に応じたきめ細かい支援と、介護サービス事業等の実施が求められています。

令和2年度は、新型コロナウイルスという未知の感染症対策を、年度を通じて講じつつ、「施設内に感染者と発生させてはならない」との信念のもと、入所者及び職員とで出来る限りの感染対策に取り組んだ結果、一人の感染者も出ずことなく年度事業を終了することができました。

これにより、令和2年度の賀茂老人ホームの延べ入所者数は26,043人となり、前年度から1,474人増加し、市町から措置される事業収入額も、前年度より約12,271千円の増額、前年度比約8.6パーセント増で終了することができました。

延べ入所者数前年度比較 (単位：人)

	令和2年度	令和元年度	増減	備考
4月	1,905	1,905	±0	
5月	2,219	1,944	+275	
6月	2,160	1,880	+280	
7月	2,224	1,990	+234	
8月	2,232	2,026	+206	
9月	2,209	1,970	+239	
10月	2,239	2,105	+134	
11月	2,160	2,022	+138	
12月	2,245	2,206	+39	
1月	2,234	2,218	+16	
2月	1,991	2,058	△67	
3月	2,225	2,245	△20	
計	26,043	24,569	+1,474	

社会福祉法人事務実績は次の通りです。

① 評議員会の開催

◇ 令和2年6月22日（第1回：定時評議員会）

議第1号 令和元年度社会福祉法人南伊豆厚生会決算承認の件について
計算書類等（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録

議第2号 令和元年度社会福祉法人南伊豆厚生会賀茂老人ホーム事業
実績報告書について

◇ 令和3年3月23日（第2回：臨時評議員会）

議第1号 社会福祉法人南伊豆厚生会役員（理事及び監事）の選任につ
いて

② 理事会の開催

◇ 令和2年6月5日（第1回：理事会）

議第1号 令和元年度社会福祉法人南伊豆厚生会賀茂老人ホーム事業
実施報告書について

議第2号 令和元年度社会福祉法人南伊豆厚生会決算承認の件につ
いて

議第3号 社会福祉法人南伊豆厚生会評議員解任委員会に提出する評
議委員候補者の推薦について

議第4号 令和2年度社会福祉法人南伊豆厚生会第1回評議員会開催
通知について

◇ 令和2年12月23日（第2回：理事会）

議第1号 令和2年度社会福祉法人南伊豆厚生会拠点区分第1次補正
予算書（案）について

議第2号 社会福祉法人南伊豆厚生会賀茂老人ホーム非常勤職員の就
業規則の一部を改正する規則（案）について

◇ 令和3年3月23日（第3回：理事会）

議第1号 令和2年度社会福祉法人南伊豆厚生会
南伊豆厚生会拠点区分第2次収支補正（案）について

議第2号 令和3年度社会福祉法人南伊豆厚生会事業計画（案）につ
いて

議第3号 令和3年度社会福祉法人南伊豆厚生会

南伊豆厚生会拠点区分当初予算（案）について
議第4号 社会福祉法人南伊豆厚生会施設長選任（案）について

③ 評議員選任・解任委員会

◇ 令和2年6月10日

議第1号 社会福祉法人南伊豆厚生会評議員の選任決議について

④ 監事による監査

◇ 令和2年5月26日

令和元年度事業の決算監査

⑤ 登記関係

◇ 令和2年6月24日

令和元年度末資産額の変更登記 381,939,084円

⑥ 嘱託医契約

◇ 令和2年4月1日～令和3年3月31日（週1回火曜日診療）

白津和夫 医師

⑦ 職員の入退職状況

正 規 職 員	
入 職	退 職
1	3

再雇用	
再雇用	再雇用退職
1	0

非 常 勤 職 員		
入 職	退 職	更 新
3	2	2

2 事業概要報告

ア) 生活支援

健全な生活環境の中で余生を明るく楽しく暮らせるよう、入所者の個々の身上を充分把握したうえで個別の処遇計画を作成し、共同生活を乱さない範囲で自由に行動するよう指導し、処遇の向上に努めました。

イ) 健康管理

健康診断、入浴、健康体操等を行い、嘱託医師の適切な指示、指導のもと健康管理の充実に努めました

また、地球温暖化等で猛暑となる夏季期間においては、水分補給を促すことはもとより扇風機とエアコンとを夜間に延長稼働させることで、令和2年度も継続して熱中症対策を講じました。

感染症対策では、従来からのノロ、インフルエンザ等のウイルスに加え、収束時期が見通せない新型コロナウイルス感染症の対策の有効手段として、手指消毒、手洗い、マスク着用、うがい、室内換気の徹底に加え、入所者の外出及び面会の禁止の措置を継続することで、感染防止に努めました。

ウ) 栄養管理

入所者生活の楽しみの多くを占める給食については、給食委員会に諮ったうえで内容の充実を図ると共に、個々が必要とするカロリー計算や食物バランス等の栄養管理には、細心の注意を払いました。

エ) 災害対策

平成25年6月発表の静岡県第4次被害想定による当施設区域の最大津波浸水深で、地表面より1m～2m浸水と推計されていることから、津波発生時の避難スロープによる2階への避難訓練を奇数月に実施し、火災を想定した屋外への避難訓練を偶数月に継続実施しました。

オ) 施設・設備整備

建築から42年が経過し、設備の老朽化に伴い更新が必要となったため、次の工事を実施しました。

- | | | |
|------------------|-----|------------|
| ・キューピクル内高圧機器更新工事 | 契約額 | 572,000円 |
| ・高圧引込口設備更新工事 | 契約額 | 1,562,000円 |

カ) 施設会計概要

事業活動収入は1億43,942千円に対し、支出については1億30,459千円で、事業活動資金収支は13,483千円（前年度△1,735千円）となりました。

施設整備等に係る収支は△1,711千円となり、その他の活動による収支は△9,703千円となり、当期収支差額合計で2,070千円となりました。

この結果、施設会計に係る当期末支払資金残高は35,653千円（前年33,583千円）となりました。

キ) 訪問介護事業所概要

事業活動収入16,574千円に対し、支出12,489千円となり、事業活動資金収支差額は4,085千円（前年4,075千円）となりました。

訪問介護事業 前年度比較

年度 項目	令和2年度		令和元年度		増減	
	利用者数 単位：人	収入額 単位：円	利用者数 単位：人	収入額 単位：円	利用者数 単位：人	収入額 単位：円
4月	22	1,272,650	22	1,288,740	0	△16,090
5月	22	1,274,240	21	1,269,370	1	4,870
6月	23	1,316,120	22	1,271,350	1	44,770
7月	23	1,400,210	22	1,458,420	1	△58,210
8月	25	1,476,020	22	1,433,860	3	42,160
9月	25	1,469,220	21	1,328,340	4	140,880
10月	25	1,493,620	23	1,478,810	2	14,810
11月	25	1,291,740	22	1,432,240	3	△140,500
12月	24	1,262,190	23	1,392,560	1	△130,370
1月	24	1,299,160	23	1,410,090	1	△110,930
2月	26	1,397,230	23	1,340,760	3	56,470
3月	25	1,486,450	21	1,348,440	4	138,010
計	289	16,438,850 (16,574,855)	265	16,452,980 (16,462,560)	24	△14,130

※ 訪問利用者数は増加したものの、利用するサービス単価の影響で収入は微減となりました。

3 重点目標の成果について

ア) 入所者確保のための対策

2019年4月、「公益社団法人全国老人福祉施設協議会」が公表した調査結果によると、養護老人ホームの全国平均入所率が約90%で、静岡県平均が約81%であったのに対し、令和2年度の当ホームの入所率は、県平均をわずかに上回る約82%となりました。

核家族化等による一人暮らし世帯の増加に伴い、環境上や経済的な事情により、生活困窮陥り易いなど、とりわけ高齢者にとっては厳しい時代が到来しています。国、県、市、町では、独居老人に対しては包括支援センターによる在宅介護を推進していますが、一人暮らしの生活に限界を迎えた高齢者難民を見逃すことのないよう、セイフティーネットの役割を改めて市町の行政に対しては促し、県担当部局へは、市町担当課に対しての、養護老人ホームの空床対策に関する確実な情報提供及び適切な入所措置の実施を強く要望しました。

入所措置に関する一層の理解と配慮に関しましては、当ホームが賀茂地域で唯一、生活弱者老人を守る施設である旨を、機会あるごとに賀茂地域首長並びに担当課をはじめ、社会福祉協議会、民童委員各位へ説明し、施設を有効利用していただく依頼を実施してまいりました。

以上により、本年度の入所者は計8人で、自宅から7人、病院から1人の入所でした。退所者は計7人で、内訳は入所中の死亡が3人、病院へ3人、その他1人となりました。

月の初日平均は71.6人で前年度(66.8人)と比較し、4.8人の増加となりました。

イ) 入所者の処遇

当施設入所者の傾向については、精神障害・知的障害・認知症などの疾患者が増加したことで意思疎通がままならず、入所者同士でのトラブルの一因となっています。これらの対策としましては、入所者の積極的な調整や、入所者の意識の変革を目的とするデイサービスの利用、部屋替え、食堂の席の位置替え、食堂当番、清掃当番の支援や指導とともに、日々のミーティング、ケース処遇会議議論に基づき、個別処遇計画を随時見直しすること等で改善を図りました。

その他、入所者が参加する全体行事はもとより、各種クラブ活動を通じての親睦交流や、歩行・体操等による体力維持に努めています。ヒヤリハット

事故が発生した場合には、改善会議において原因を徹底究明し、対応等を処遇計画に反映することで、今後の事故防止に努めました。

ウ) 人事・労務管理

組織業務の効率的・効果的な運営に取り組むことを目的とする職員の意識改革施策を、本年度も実施しました。当施設の運営向上のためには、担当業務別に目標を掲げさせ、その目標の達成感を法人理念の高揚へ繋げさせ、ひいては職員自らの幸せ、及び入所者の幸せへと発展連鎖させるための動機づけを行いました。

また、各種研修等に参加した内容を職員会議で報告させ、職員の意識改革を促すよう努めました。

以上、令和2年度の社会福祉法人南伊豆厚生会の賀茂老人ホーム事業報告といたします。